

## ちょっと気になる”おしり”の話 第3回

うんちと一緒に何か出る！

(肛門ポリープ)

こんにちは。上野クリニックの上野正勝です。毎日暑い日が続きますね。今回は、うんちと一緒に出てくる、肛門ポリープの話です。

排便のとき、おしりからイボのようなものが出てきたら、それがポリープです。ご飯粒のようなものから、時には松茸のような大きなキノコ型ものまで、形や大きさはさまざまです。切れ痔（第1回のテーマ）や内痔核（第2回のテーマ）による炎症が原因で、できることが多いです。

小さな肛門ポリープは、特にご本人が気にならないければ、大きくならないか経過をみます。大きなポリープは、ウンチをするたびに肛門の外に飛び出します。排便後に毎回それを肛門の中に入れるのは、さすがにストレスです。この場合は、ポリープを切除します。5～10分の手術です。虫歯の治療をする時と同じ、簡単な局所麻酔でします。術後の痛みもほとんどありません。

つぎに肛門ポリープと区別が難しい病気で直腸ポリープがあります。これは時にガンになることがあり、早めに切除します。

痛みや出血がほとんどなく、ただ、飛び出たり、じゃまになるだけの肛門ポリープ。放置されている方も多いです。効果的な予防法もありません。しかし、時には直腸がんや肛門がんを見分けがつきにくいこと、できる場所が自分では見にくいこと（医者自身が自分で診断するのも難しい！）、治療も簡単にできること、などから“うんちと一緒に何か出る！”ばあいは、肛門を見てくれる医者にご相談しましょう。

バックナンバーのお知らせ

上野クリニックのホームページ (<http://uenoclinic.com>) から、ちょっと気になる”おしり”の話、のバックナンバーをご覧ください。インターネットをされない方は、上野クリニックにお問い合わせください。バックナンバーを差し上げます。